



# 学校だより

福生一小ホームページ <http://fussa-1e.hs.plala.or.jp/>

令和5年3月1日  
3月号  
福生市立福生第一小学校  
校長 高瀬 智子



## つなぐ 一小の心

校長 高瀬 智子



春の訪れを感じられる季節となり、今年度もあと1か月となりました。子どもたちは、4月当初に比べると、どの子も身体が一回り大きくなり心身ともに成長し、日常の学習、生活、様々な学校行事や各学年の取組を重ねて着実に成長しています。

本年は、福生一小において、大きな節目の年です。150年という歴史は、これまで一小に関わってきた多くの方の力や努力があつてのことです。この機会に、子どもたちには、地域についてさらに理解を深め、地域を大切に思う心をもってほしいと思います。

これまでの一小のあゆみについて私自身も紐解いていきました。今から60年前の創立90周年の記念誌には、鉄筋の校舎の建築も進められる中、当時の方々の福生一小にかける思い、また、地域をあげて学校の発展を願う様子が記録に残されています。現代とは、時代背景は異なりますが、学校を大切に思う多くの方々によって支えられていたことが伝わってきます。

今回の150周年も実行委員の方々と教職員、また、保護者・地域の方の御協力もいただきながら、子どもたちの心に残る、そして、150周年に関わった子どもたちの活動がその後も一小の歴史の一つとして、継がれるようにと進めていきたいと考えています。

150周年を祝う学校の取組として、子どもたちが福生一小のあゆみを知り、これからの学校や地域について考える学習を行っていきます。先日、その学習が始まりました。全学年が田村酒造場と福生一小が福生学舎として始まった長徳寺に行き、お話をいただきました。また、一小の卒業生である先輩を学校にお招きし、一小の歩みや当時の小学校の様子、思い出についてお話をいただきました。子どもたちは、真剣にお話を聞き一小のことについて理解を深めました。

また、6年生は、一小の壁面沿革史の制作を始めています。3月で卒業となりますが、150周年に関わった足跡を残していきます。今年度制定したイメージキャラクターや、キャッチコピーも引き継いで、これから活動をしていきます。



(田村酒造場)



(長徳寺)



(先輩のお話)

残り1か月ですが、6年生は6年間の総まとめをし、新たなステップへと巣立っていけるよう、1年生から5年生は、この1年の自分の成長を感じ、一つ上の学年となる意識を高めていけるよう、取り組んでいきます。

最後に、本校の教育活動に際して、保護者・地域の皆様には多くの御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も「未来輝く福生一小の子」を育てていくことを教職員が丸一となって行なって参ります。

### 3月の祝日

春分の日 **3月21日** 自然をたたえ、生物をいつくしむ。

【参考】国民の祝日に関する法律  
(祝日の日は2023年のもの)